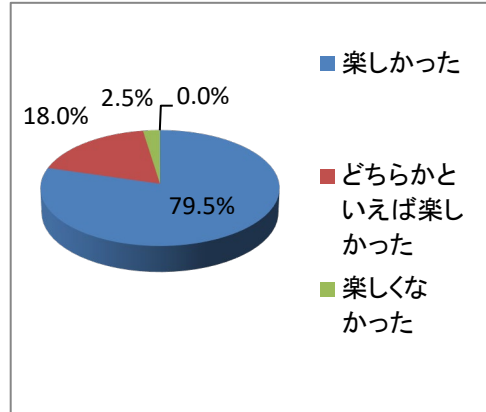


ポッチャ体験教室アンケート結果(生徒用)

[回答者数:122名]

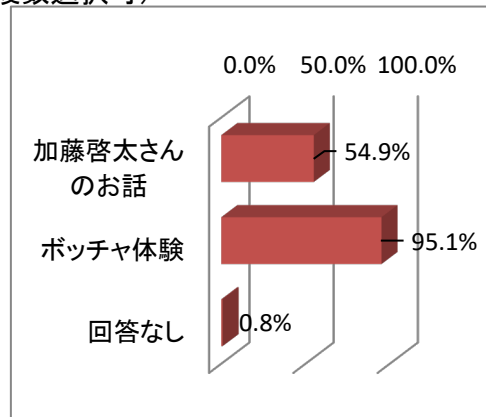
1. ポッチャ体験教室は楽しかったですか？

楽しかった	97名	79.5%
どちらかといえば楽しかった	22名	18.0%
楽しくなかった	3名	2.5%
回答なし	0名	0.0%



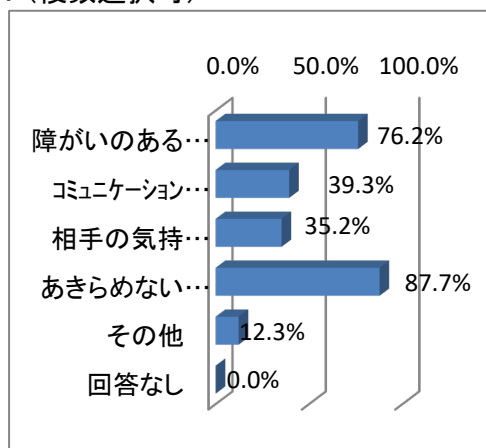
2. ポッチャ体験教室で、楽しかったのはどれですか？(複数選択可)

加藤啓太さんのお話	67名	54.9%
ポッチャ体験	116名	95.1%
回答なし	1名	0.8%



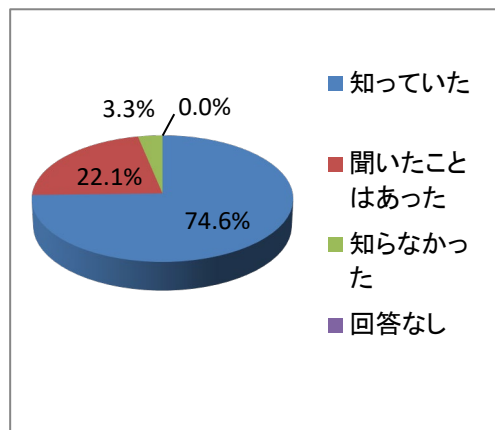
3. ポッチャ体験教室ではどのようなことを学びましたか？(複数選択可)

障がいのある人への理解	93名	76.2%
コミュニケーションの大切さ	48名	39.3%
相手の気持ちを考える	43名	35.2%
あきらめない心の大切さ	107名	87.7%
その他	15名	12.3%
回答なし	0名	0.0%



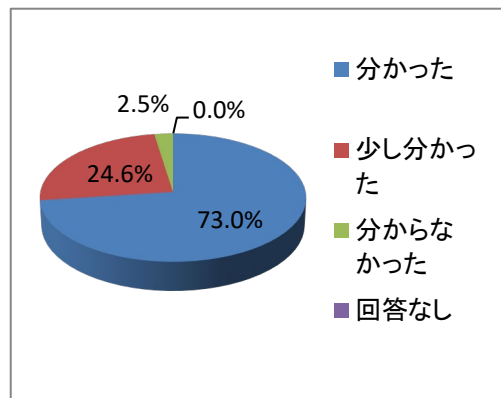
5. 今までに、「人権」という言葉を知っていましたか？

知っていた	91名	74.6%
聞いたことはあった	27名	22.1%
知らなかった	4名	3.3%
回答なし	0名	0.0%



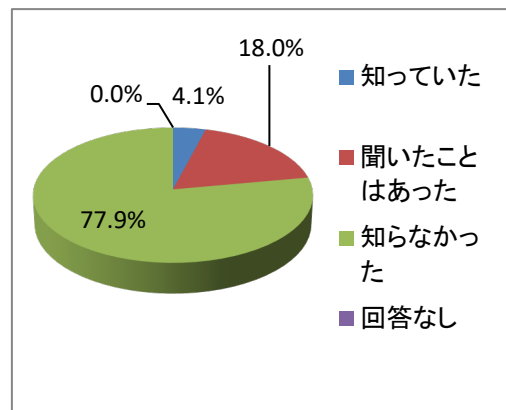
6. 「人権」とはどのようなことか分かりましたか？

分かった	89名	73.0%
少し分かった	30名	24.6%
分からなかった	3名	2.5%
回答なし	0名	0.0%



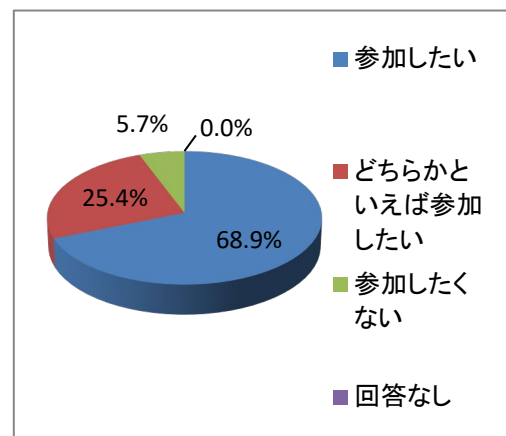
7. 「人権擁護委員」を知っていましたか？

知っていた	5名	4.1%
聞いたことはあった	22名	18.0%
知らなかった	95名	77.9%
回答なし	0名	0.0%



8. また、ポッチャ体験教室に参加したいですか？

参加したい	84名	68.9%
どちらかといえば参加したい	31名	25.4%
参加したくない	7名	5.7%
回答なし	0名	0.0%



4. 加藤啓太さんのどのようなお話が心に響きましたか？

「1%の可能性」というお話が心に響きました。私もがんばろうと思いました。

「OWN YOUR LIFE(自分の人生は自分で所有する)」という言葉や「共に生きる」という言葉。

「1%の確りつ」を、すごくいっしょうけんめいに取りくんでいるのが、とてもこんき強く、すごかったです。私は、50%でもあきらめてしまいそうなので、私も加藤さんをみならいたいです。

1%の可能性があれば、どんなことにも**桃戦**(挑戦)するという加藤啓太さんのお話が私もまねしてみようと、思いました。↑(参考)

どんなことでも、前向きに考え、行動をする。

「自分の見た目や自分が障がいを持っているけれど、1%の確率しかなくても挑戦し続けたい！」というお話。

「1%の可能性を信じれば、夢を叶えることができる」ということがすごいと思いました。ユーモアがあって、全部のお話が面白かったです。

たとえ1%でもあきらめずに挑戦するということが、私にはなかなかできないので心に響きました。

1%の可能性を信じてあきらめないというお話が心に響きました。

「1%の可能性があればあきらめない」という言葉。

可能性があるかぎり、ちょうせんすることです。

「1%の可能性を信じる」ということに関しての話が一番、心に響きました。

障がいをもっているのに、あきらめず「1%」に信じて何事にも**チャレンジ**(チャレンジ)する加藤様の姿せいに心を動かされました。

1%の可能性を信じて、あきらめなかったこと！
田んぼに突っこんだこと！！！！

自分が障害があっても、前向きに過ごしていて、1%の可能性でも信じていて、とても心が強い人だと思った。

1%の可能性を信じて挑戦する

親や友達、学校にも大学は無理だと言われたが、あきらめずに大学に合格したこと。

とても**郷き**(響き)ました。加藤さんの話を聞いてこんなにかっこいいストーリーがあるんだなと思いました。**あきらめな**(あきらめない)1%の確りつが僕のむねにとっても響きました。楽しかったです。

1%の可能性がある限り決して諦めないという話。

何度も言っていた「1%」です。
すぐに私はあきらめてしまうので加藤**選挙**(選手)のように「1%」を信じます。

1%のかくりつでもあきらめないという言葉が響きました。

「1%を信じて挑戦すること」の話が響きました。私の習い事の試合に照らしあわせて聞き、優勝への1%以下の確率を信じて戦おうと思いました。

加藤さんの生活のお話

私はすぐあきらめちゃうけれど、加藤選手の話を書いて、「もう少しがんばって、あきらめずに挑戦」していきたいです。

どんなことも1%の確率があればがんばるという話を聞いて物事に逃げてばかりだけど僕もがんばってみようと思いました。

失敗は、はずかしいことで失敗はしたくないと思っていたけれど、加藤選手は楽しむと言っていて、私も楽しみたいと思いました。

1%がある限り、あきらめないというのが心に響いた

自分で決めた道を進むということが心に響きました。

人に決められるのが嫌いで、自分で決めたことを諦めず(諦めず)、つき進むという話。

「1%の可能性があれば」という話が一番心に響きました。

どんどん失敗しろということが、心に響きました。

1%でも可能性があれば挑戦するというお話と、障がいがあってもなくてもスポーツはできるというお話です。

障がいということを受けいれて、生きようとしたということが心に響いた。

1%のかのうせいでもあきらめないといっていた所が心に響きました。

1%の可能性を信じること。

障害があっても少しの可能性があれば挑戦すること。

共に生きるという言葉が心に響きました。

1%の可能性を信じてちょうせんするという話

1%の可能性がある限りあきらめないというところ
99%可能性といわれたことでも加藤啓太選手はなにごとにも全力でとりくむところ。

どんなに無理だと思っても、がんばって努力すれば不可態(不可能)を可態(可能)にできるかもしれないという加藤さんの熱い思いが伝わりました。

しょうがいがあっても大学へ行こうとしたお話し。
しっばいをしてもおそれなくていいというお話し。

1%の可能性でも、あきらめないと言っていたこと。

前向きにもの考える加藤さんの1つ1つの発言が良かった。

1%の可能性でも信じて挑戦すること。
すごいと思いました。

あきらめなければ必ず叶うという言葉と、失敗も、何度もしたけど、あきらめなかったから、ここまでこれた。

失敗は、何回もしてもいいというお話。

障がいがあってもあきらめずに大学へ行ったというお話。

1%の可能性を信じて挑戦するという話が1番心に響きました。

1%の**可態性**(可能性)を信じて努力すること。

あきらめたらそこで試合終了のお話

最後まであきらめなければと言う所がまだ自分には、たりていなかったもので、自分のたりていないところの話をされると、なるほど！！と思えたりして、いろいろ考えたりできるので「あきらめない」の話が心にとってもものこりました。

無理だといわれてもあきらめなかったこと

1%でもあきらめないこと。

『絶対に、あきらめてはいけない。1%の可能性を信じてやる』

1%の確率でも、ちょう戦すること。

必ばい(失敗)をたくさんすること。という話です。私は、成功をたくさんした方が、すくすくと成長すると思っていました。ですが、加藤さんのお話を聞いていて、とても勉強になりました。

やっぱり、あきらめない心の大切さの話が心に響きました。

パラリンピックで負けた話が心に響いた。

いろんなことがひびきました

世の中にはしゃべれない人もいるんだなと思いました。

1%の可能性があれば、どんなことにも挑戦し続ける加藤さんの話。

たとえば1%の可能性でもあきらめない！という話。
パラリンピックのフォトギャラリー&お話(パラリンピックの)

朝食が肉まんとおにぎりの事と、障がいがあるが、あっても、いろいろなかべを、やぶれる。

何事にもできないときめつけずに、全部やってみること

負けているけどボッチャをやり続けることがすごいと思いました。

「1%の可能性を信じて挑戦すること」についてのお話しがとくに聞いてきて、あきらめない心はすごく大切なことだと感じました。

1%の可能性を信じて、あきらめずに頑張るというお話しが心に響きました。

あきらめずになにごとにも挑戦すること。

1%の**可態生**(可能性)があるならあきらめずに最後までがんばること。

1%のかのうせいがあれば挑戦するという話

障がいをもってもあきらめなければなんでもできるというお話

1%でもあきらめないこと。

障害がある人でも、あきらめずにやっとなら、1%のかのうせいがあればやり続ける、というのはとても共感した。自分もあきらめずにやろうと思えた。

失敗は成功のもとって感じな話し。

生まれた時に、もう99%助からないと医者に言われても、残りの1%の可能性を信じて、リハビリを頑張ったという話。

「1%の可能性があれば挑戦できる」というお話しが心に響きました。

あきらめなければ夢は必ずかなうこと。

1%のかのうせいを**信じて**(信じて)いたところ。

世界の試合に負けて2時間泣いていたこと

障害があっても希望と捨てないということが心に響きました

「1%の可能性を信じる」という言葉が印象に残りました。
直接ではないけど、お話ししようという気持ちが伝わってきました。

99%と不可能でも1%だけは、可能だというお言葉。
共に生きる。

可能性がたった1%でも、あきらめずに頑張るとのこと。

1%の可能性を信じる。

1%でも諦めなければ叶うという話。

1%にしかないことでもチャレンジする大切さ

「1%の可能性」という言葉が心に響きました。不可能だなと感じても「1%の可能性」があればあきらめずにがんばりたいです！

1%でも可能性のあるのなら、努力してみたと思いました。
努力をすれば、だれでもむくわれると思いました。

どんなことでも、1%の可能性のあるなら、努力するということが印象に残った。

1%でもがんばるとのこと

どんなことでも、あきらめずに続けること。

1%あれば**なにでも**(なんでも)かなえることができるということをまなびました。

たった1%の確率を信じて、がんばることは「すごいなあ～」と思いました。

最後に話したあきらめない心の大切について分かりました。

1%の可能性に諦めずに挑戦することについての話し。

大学は、みんなから反対されていたのにいくなんてすごいと思った。

1%についての話にとっても心に響きました。

1%の可能性を信じる！

1%でも可能性のあるならあきらめるなっるのがすごいなあって思いました。

どんなことでも挑戦し、1%の確率でもあきらめないこと。

上(アンケート用紙 問3)の書いた「障害のある人への理解」や「あきらめない心の大切」のところ。

あきらめないという話。

99%が無理でも1%の可能性を信じてあきらめずにがんばること。

あきらめないお話

1%の可能性を信じること

1%でも可能性があれば、あきらめずにやり続けること。

障がいをかかえているからといって、笑わないわけでもなくむしろとても笑らって(笑って)いたのがすごいと思った。

全てです。ぜんぶよかった

あきらめない心。

1%の可能性を大事にしたこと。

1%の可能性があるかぎり挑戦する。

1%でも可能性があれば挑戦すること。

1%のかのうせいがあるならあきらめない

1%の可能性についての話

1%の力といつでもあきらめないこと

あきらめない心

1%の可能性があれば実げんできること

しょうがいがあってもあんなにボールのコントロール(コントロール)できてすごいと思った。

いくら障がいがあっても、一回自分で決めて始めたことはすぐにあきらめず最後までやりきる

1%でも可能性のあるのならあきらめない心を持つということ。

生後3ヶ月で障害者になったこと

あきらめなかったこと。

自由に感想を書いてください。

私は、ボッチャという競技を知らなかったし、障がいがある人だけし**が**(か)できない競技だと、思っていました。でも私たちも楽しくできたのですごいなと思いました。
私は右耳があまり聞こえないので少しだけ共感しました。

障がいのある人と普通の人と一緒に楽しめる「ボッチャ」はすごいなと思いました。
他にもパラリンピックの競技を知りたいです！

障がいがあっても、**健人**のように**暮して**(暮らして)加藤さんがすごいと思いました。たとえ可能性が少なくても、1%でもあればかなうんだと感じました。
いろいろな人がたくさんいる地球なので、障がい者を見つけたい、もし困っているならお手伝いをしたいです。

加藤さんの人柄が分かったり、応えんしたいと思いました。障害をもっていたとしても、出来ることはたくさんあるんだなと思いました。ボッチャ体験では、手足がある方が有りと思っていたけど、加藤さんにぼろ負けしてくやしかったけど、やっぱり強いなと思いました。
体験をするにあたって、色々なことについて知れたし、自分も加藤さんみたいに前向きなことを考えてみてほしいなと思いました。
たくさん参考になることができました。

私が、障がい者だったら考えもしないような、「強い心」「前向きな行動」この2つにとても、感動しました。どんなにつらくても、前向きに考えるその心になりたいです。加藤さんのおかげで(で)、考え方が、変わり、前向きに生きよう！私は、そう思いました。

加藤さんのように、体が動かなかったりという障がいがあっても、確率が1%だけでも、様々なことに挑戦できることを知り、障がいを持った人への私たちの勘違いを解きたいと思いました！
なので、色々な障がいを持った人がいますが、私たちとけして変わらない1人の人間なんだ！！と改めて感じました。

加藤選手が1%の可能性を信じていなければ、ボッチャ体験教室の講演を聞くことはできなかったし、ボッチャを知ることがなかったし、「1%の可能性を信じれば夢は叶えることができる」という素敵な言葉に出会えなかったのが、加藤選手に感謝しています。

ボッチャを最初に見たときは難しそうだなと思いました。でも、ルールを聞いてやってみると簡単にやることができました。ボールのコントロールや力の入れ方などは難しく、私はなんども敵のボールをおしてしまい相手が勝ってしまいました。また、ボッチャ体験があったらぜひ参加したいと思いました。そして、そのボッチャをいともたやすくやってしまう加藤さんは、すごい方だなと思いました。

ボッチャを初めて体験して、すごく難しかったです。特にボールのコントロールが難しかったです。ですが、楽しかったです。障害のある方でも楽しく競技ができるということを知れました。

ボッチャの楽しさを知れました！また、「1%の可能性があればあきらめない」という言葉がとても心に響きました。自分の生活に生かしていきたいと強く思います。しょうがいに**関係**(関係)なく強い意志をもつ加藤さんに、カッコいいなと思いました。

ボッチ(ボッチャ)、とても楽しかったです。また機会があれば、やりたいです。

最初は、もっと激しいスポーツだと思っていたけど意外とおだやかで、しかも、すごくテンションが上がるスポーツでとても楽しかったです！

このような体験をさせていただき、まことにありがとうございました。障がいをもっていてもあきらめず、何事にもチャレンジする加藤様の心に本当に感動しました。ぜひ、ぜひまた豊山中学校に来てください。

加藤さんの「あきらめない気持ち」に感動した！！障害をもっていることなんて忘れるくらい元気な方で、とっても**楽しかった**(楽しかった)！またボッチャを体験したいです！！！！！！！！

加藤啓太さんは自分の障害に負けずに生きていて、日本代表になっていると聞いたので、自分も前向きに生きてかないといけなと思いました。

「障がい者の人がやるスポーツは簡単だから、元気な私がやっても楽しくない」と勝手に思っていました、あんなに難しい競技だったんですね。すごいたのしかったです！私もこれから1%を信じて、挑戦していきたいと思います。

ボッチャのボールのコントロールが難しかったです。
加藤さんはパラリンピックのキャプテンをつとめていてとてもすごいと思った。

加藤さんのやる気はだれにもだせないすごいやる気だと思いました。ほんとうにすごいです。

ボッチャをやるのは楽しかったです。またやってみたいです。
加藤さんの話は分かりやすく、おもしろかったです。

加藤**選挙**(選手)は障がい者ですが、とてもおもしろい人だと思いました。
食の量もとても多く、**私**(私)より強い人だと思いました。

加藤啓太さんの言っていたあきらめないという言葉のようにこの先あきらめないような人になりたいと思いました。

加藤さんは体が不自由でもパラリンピックに10年連続で出場され、挑戦し続けたことがすごいなと思いました。このことを母に話したら、「オリンピックってゆう体に何も障害のない人が出る世界大会とパラリンピックだったらパラリンピックに出場することは、レベルが違いすぎるくらいすごいよ。」と言っていました。世界大会は**精心的**(精神的)につらく、でも楽しんでる加藤さんは、尊敬できます。

加藤さんがとてもボッチャがうまくてびっくりした。

私たちは手でなげていたから、力の入れ方を自由にできたけれど、加藤さんは頭の方で、やっていたので、すごいと思いました。これからも頑張ってください。

手であつかうことが難しかった僕より頭で狙った所に飛ばした加藤さんがすごいと思った。

車いすの生活や言葉が話せなかったりしていても全てのことを全力で頑張っている加藤選手が、とてもスゴイと思います。

ボッチャは、想像と全くちがうスポーツだった。

私も加藤さんみたいに、自分で決めた道を進むため**り**(に)がんばってみたいです。

加藤選手の強い心にびっくりしました。お父さんもコミュニケーションをとる力がすごかった。ボッチャをボールとか使って公園とかでやりたいと思った。

ボールのコントロールがとても難しかったです。
加藤さんのボールコントロールがとても上手だった。加藤さんの話がおもしろかった。

ポッチャは、障(障がい)をもった人しかできないと思っていたけど、障がいのない人たちでも楽しくできた。

ポッチャをやって楽しかったのもそうだけど、コミニ(コミュニ)ケーションのとり方、そして障がいをもってても1%の可能があればできるということを知れました。

絶対にあきらめないや何でもちょうせんするという加藤さんがすごいと思いました。

最初はポチャ(ポッチャ)のことを簡単だと思っていたけどやってみたらすごく難しかったので加藤さんは本当にすごいと思った。またポッチャをやりたいです。

加藤さんのお話を聞いて、やっぱり、どんな人でもご飯はたくさん食べるんだな、と思いました(笑)肉まんもからあげも好きです。また、ポッチャをやりたいです！♪楽しかったです♪

ポッチャのことを知らなかったけど、実際にやってみて楽しかったし、とても難しかったので加藤さんがすごいと思いました。

加藤啓太さんのお話を聞いて、前は、お店とかで、障がいのある人と会って笑ったりしていたけど、これからは、何か自分にできることはないかと思えるようになりました。

加藤さんのポッチャのうまさに感動しました。これからも1%の可能性を信じて(信じて)がんばってください。わざわざ来てくださりありがとうございました。

初めてポッチャというスポーツをやりました。ニュースなどで見たことはあったけど、あまり興味がなかったけど加藤啓太選手に会ってみて、とても興味を持った。障害のある方でもたのしめるし、一般の人でもとても楽しめる。

2020年の東京オリンピック、パラリンピックはポッチャのこと、そして、加藤啓太さんのことを応援したいです。加藤選手にお会いできて本当によかったです。加藤選手が東京パラリンピックにでたら、現地にいきたいです。

ボールのコントロールが難しく、変な方へ飛んでいってしまいました。でもみんなの応援と加藤さんのように諦めず(諦めず)、ゲームに取り組むと少しずつ上手くできるようになりました。本当に良い体験をありがとうございました。

しょうがいがあっても、やりたいことに立ちむかう加藤さんはかっこいいと思いました。ぼくもあきらめずに立ちむかおうと思った。

加藤啓太さんのように、ぼくは、障がいが無いけれど、同じように、挑戦する気持ちやあきらめない気持ちを持って、生活したいです。

人に対する考え方が変わりました。

私が障がいをもったとき、加藤のように、色々なことに挑戦できる自信がありません。加藤さんは、とても素晴らしい人だと思いました。

加藤啓太さんのように、障害をもっているけど、あきらめなければ必ず、話が通じたりするんだなと思いました。私も、これからは、あきらめずに、最後まで、やり切りたいと思いました。

加藤さんは理由が分からないちっ息からの障がいで、最初はかわいそうだなとか思ったけど、障害があってもかンばる姿に感動した。

体験教室をする前は、ポッチャのことを全く知らなかったがした後はポッチャのルールや、やり方などがなんとなく分かった。とても楽しかったのでまたやりたいと思いました。

ポッチャは、ボールを投げ出す強さやコントロールがすごく難しかった。ロンドンパラリンピックで初めてキャプテンを務めたことはすごいと思った。

私は、はじめパラリンピックの競技になっているときいて、「障がい者がやるスポーツをやってもいい。」と思っていました。でも、加藤選手の話や、実際にボッチャを体験して、ボッチャが好きになりました。ボールのコントロールは難しかったけど、楽しんでやることができました。

お昼にくまんと、おにぎりを食べてきたという話、ボッチャがとてもうまくて、これがオリンピックの人の実力なんだと思いました。

ボッチャと言う、特別な体験教室ができて、とてうれしかったです。また友達のみんたと体験したいです。あと、ボランティアなどでボッチャのことをもっとみんなに知って、もっと世界で楽しんでもらってほしいと思いました。

加藤さんのお話で、人権に対する考えが変わりました。

ボッチャは、障がいのある人だけ、楽しめると思っていたけど、それは、誤解で、誰でも楽しく遊べる(集中できる)ものだな～と思いました。

1%でもあきらめずにちょう戦することができる加藤さんは、すごいと思いました。また体験したいです。

加藤選手は、障害があるというのに、お話のときにも、言っていました。いつも前向きで、とてもそんけいしました。試合でも、ピンチのときにも、必ず勝っていたので、強い選手だなと思いました。

ボッチャ体験教室で人と人とのコミュニケーションの大切さをわかりました。

ボッチャが思ったより

たのしかったです

ボッチャは**傷害**(障害)をもった人でも楽しく遊びなんだ**た**と思いました。

障害のある人は、他の人と同じように努力していることを深く理解することができました。私にとって、とてもいい経験になりました。ありがとうございました。

最初の「障がい者ですけど何か？」という文がとても心に残りました。そして、障がい者に「かわいそう」と言うことは逆に失礼だなと改めて考えました。私は北京オリンピックの「オリンピック」はみていたけれど、「パラリンピック」は全然みていませんでした。しかし、今回加藤啓太さんと会って、ボッチャをやってパラリンピックに興味をもちました。東京パラリンピック、みてみようと思います。ありがとうございました。

加藤さんは、いろんな事にチャレンジしていて、かっこいいと思いました。あとすごくおもしろかったです。

私の親せきにも障がいをもってる子がいるので一緒に参加してみたいと思いました＼(^_)/

ボッチャは障がいのある人しかできない競技だと思っていたので、今回ボッチャの体験をすることができてすごくいい経験になりました。また、説明が分かりやすかったので、楽しんでできました。これからも、機会があったらやりたいです。

ボッチャを体験してみて、楽しかったけど難しいなと思いました。ですがやったことが一度も無かったので良い体験だったと思います。

1%の確率でも、あきらめずに挑戦するのはすごいと思いました。これから自分も、何ごとにもあきらめずに挑戦していこうと思いました。
ボッチャ体験は、楽しかったけれど、とても楽しかったです。

ボッチャは、しょうがいがない人でも楽しめたのですごくいいと思いました。
加藤先生の話はためになったところもあったのでそれをいかしたいです。

1班と加藤さんがボッチャをしている所がとてもおもしろかった。

ボッチャ体験ではみんな協力して、楽しくできました。
部活や勉強をあきらめずにがんばろうと思いました。

加藤さんは、プロだったのですごくじょうずでおどろきました。

普段は出来ないボッチャを体験できて、とてもよかった。「人権」を大切にして、これからもあきらめずがんばろう！と思えた。いろんな話を聞くことができてよかった。

私たちにこんなおもしろい遊びを教えてもらい心から感謝しています。

予想していたよりもボッチャが、楽しかったです。
またやりたいなと思いました。

最初は、どんなスポーツなのかわからなかったけれど体験してみてすごく楽しかったです。
また、参加したいと思いました。

楽しかった。

ボッチャは、しょう害がある人でも、しょう害をもっていない人も、楽しめるのがすごいと思った。

パラリンピックという障害者が参加するイベントがあるから、障害をもってる人も平等に楽しめ、そのことの大切さがよく分かりました。

あまり自分は、障害者を見て、交流したことがなかったので、いい機会だったなあと思います。
加藤さんが、ボッチャのときに向きなどをがんばって伝えようとしていて、ビックリしました。本当にすごかったです！楽しかったです。またボッチャやりたいです！！

障害者だけではなく、障害のない人もできるボッチャは、障害者だけではなく他の人も心を通わせるスポーツだと思いました。

加藤さんは、あと5年で亡くなるかもしれないと言われたのに、すごいなと思った。頭でおしているのに、あそこまで正確になげられていて、障がいはある関係ないんだなと思いました。

加藤さんの1%の可能性という言葉に感動しました。

私も加藤さんのように少しでも可能性があるなら頑張りたいと思いました。
これからも頑張りたいです。

ボッチャというのをよく分からなかったけど、ルールがかんたんで楽しくできました。
人権についても分かりやすく教えてくださったので、良かったです。

加藤さんのお話はすごく心に響きました。障がいをもっているのにがんばろうという気持ちがすごく伝わりました。ポッチャはボールのコントロールがとても難しかったです。白ボールに近づけていたのがすごいなと思いました。ありがとうございました。

ポッチャというあそびを、今まで知らなかったけど、やってみるとむずかしく、とても頭を使うことを知りました。しょうがいがある方々でも楽しめて、いいと思いました。加藤さんの話では、とても心に残る言葉ばかりで、とても勇気がでる一文一文でした。また、努力をしてみたいと思いました。ポッチャ体験教室に参加して、とてもいい機会になってよかったです。

4(用紙問4)のどこでも言ったとおり、どんなことでも1%の可能性があれば努力するということがすごいなと思った。自分もやってみたいと思いました。

とても難しかったです。

できると信じていろいろな事に挑戦していてすごいと思いました。

しょうがいのある人だっとなににでもちようせんすればできるということもわかったし、次そういう人を見たらたすけたいと思いました。

加藤さんは、お話を聞いて僕の中では1番すごい人だと思いました。100%のうち1%しかない確率の中でやるということは、僕もびっくりしました。なので、僕はたとえ1%の確率だとしても、何事にもがんばっていきたいです。

ぼくは、ポッチャ体験でみんなで楽しくできて良かったです。

障害を持っている人でも楽しく参加できるスポーツの一つを知ることができて良かった。もったくさんの競技を知りたいと思った。

お父さんもすごいと思ました(思いました)。

障害者スポーツは、障害者用だと思っていたけど、そんなことなく、ビックリしました。

ポッチャについて

ボールを投げる時の力のコントロールが難しかったです。

障害があるからといってやめるのではなくちようせんする！

私も負けてはいられない！
なにがあってもちようせんしようと思いました。

パラリンピックはオリンピックよりもあまり見たりしないから、今回「ポッチャ」という競技を体験することによって、こうゆうのもあるんだなあ。とパラリンピックに少し興味がわきました。

いろいろなことに挑戦していくこと。1%の確率でも、どんなことも、あきらめないこと。これをポッチャを通じて学びました。これから、あきらめない、挑戦するを心に入れておきたいです。夢は紙に書いて、実現させたいです。

養護学校から大学に行くことと決めたことがすごいと思った。

友達とやったら楽しい。

障がいがある人でもできるスポーツなのでとても簡単だと思ったけど、意外と難かしく(難しく)ておもしろかったです。加藤選手は白いボールに**近づける**(近づける)のがとてもうまくてびっくりしました。

人としては変わらない！と改めて思わされた。

みんなで協力し、楽しめて、楽しかった。

楽しかった。

障がいをかかえている人がやるスポーツは、あまり楽しくないと思っていました。でも障がいをかかえている人がやるスポーツでも、考えることが、たくさんあるので楽しかったです。

楽しかったけど、もうしたくない→りゆう おもしろくないから。ドッチがしたいー

思ったよりボッチャはたのしくなかったです。

いろいろな事を学べたのでよかった。

障害者でも楽しめる「ボッチャ」はとてもいいスポーツだと分かりました。

すごく楽しかった。パラリンピックで使われる競技は、障がいがある人しか楽しめないと思っていたが、なにも障がいをもっていない人でも一緒にできてすごいと思った。

おもったよりちからかげんが**むづかしくて**(むづかしくて)よわくころがしたつもりでもどこかえいってしまうようにころがって行ってすごくむづかしかったです。

ボッチャの時、台を設置する人は、大変そうだなと思った。

ボッチャのボールがうまくなげれなかった。
ボッチャは、とても難しいきょうぎだと思った。

どうしてボッチャという名前がついたのか

ボールのコントロールがすごくむづかしかったです。

今回は**始めて**(初めて)、しゃべれない、または、手足が思うどおりに動かない人に会って全部が全部自分ではなく、たまには人の手もかりて夢をかなえている人を見てとてもカッコ良かったです。

加藤さんの話をきいて人と人のやってることはおなじだからしょうがいをもってる人も同じことだと思いました。

ぼくはボッチャ体験教室をやって、もしも自分が障害者になったら、とても何をすればいいのかが分からなくなります。それに比べて加藤さんはとてもすばらしい人だなと思いました。

加藤さんは障害者でもスポーツをやっていたのですごいと思った。

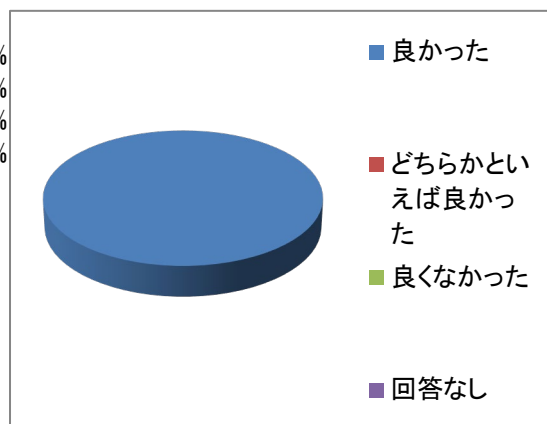
ボッチャ体験教室アンケート結果(教員用)

[回答者数: 8名]

1. ボッチャ体験教室の内容は、いかがでしたか。

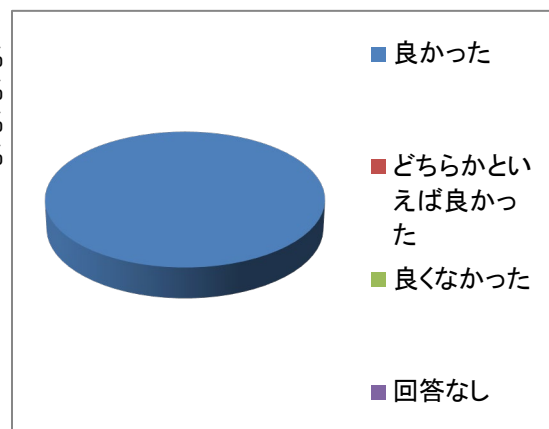
【加藤啓太氏の講話】

良かった	8名	100.0%
どちらかといえば良かった	0名	0.0%
良くなかった	0名	0.0%
回答なし	0名	0.0%



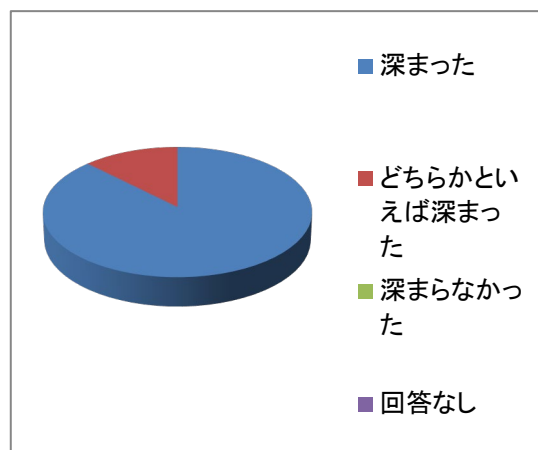
【ボッチャ体験】

良かった	8名	100.0%
どちらかといえば良かった	0名	0.0%
良くなかった	0名	0.0%
回答なし	0名	0.0%



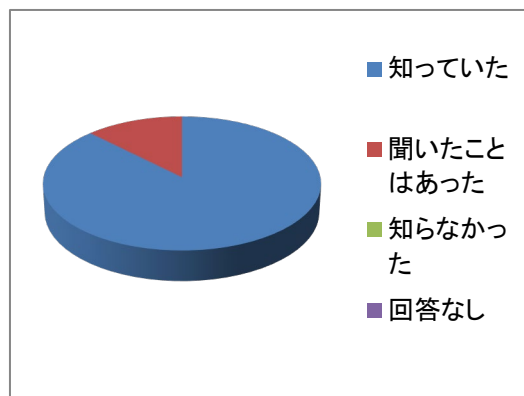
2. 今回のボッチャ体験教室を通じて、参加した児童が、障がいのある人への理解を深めたと思いますか。

深まった	7名	87.5%
どちらかといえば深まった	1名	12.5%
深まらなかった	0名	0.0%
回答なし	0名	0.0%



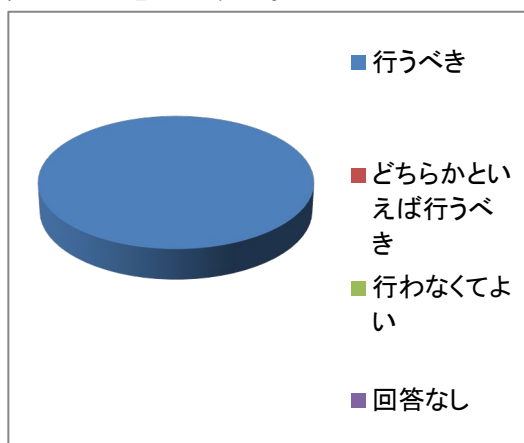
3. 今までに、人権擁護委員の存在を知っていましたか。

知っていた	7名	87.5%
聞いたことはあった	1名	12.5%
知らなかった	0名	0.0%
回答なし	0名	0.0%



4. 今後も、ボッチャ体験教室のような人権啓発活動を行うべきだと思いますか。

行うべき	8名	100.0%
どちらかといえば行うべき	0名	0.0%
行わなくてよい	0名	0.0%
回答なし	0名	0.0%



5. 今回のボッチャ体験教室についての感想や改善点、今後の人権啓発活動についてなど、ご意見をお聞かせください。

・3コートから6コートにさせていただき生徒の体験時間が増えました。ありがとうございました。多くのスタッフのみなさま方に感謝。

追申 私達職員の生徒への支援不足が露呈するアンケート結果もありますが、今後の課題とさせていただきます。

・生徒がお話もとても興味深く聞いていましたし、実際にボッチャの体験をしたことで理解が深まったと思います。ボッチャ以外にも障がいのある方が取り組んでおられるものを体験したり、話を聞いたりする機会があるといいと思います。

・伝え聞いたことではなく、加藤氏の姿を見て、話される様子や表情を見ながら聞く機会となりよい機会を頂いたなと感じました。(ボッチャを通して相互の理解を深めることができると感じましたので、今後も続けて頂きたいと思います。)ありがとうございました。

・通常の福祉実践教室は小学校でも実施しているので、どちらかと言えばまんねり化してしまうような状況です。今回のような貴重な体験は、生徒にとってもインパクトのある学習であったと思います。

・講話の時に椅子で話を聞いた方が集中できるかと思います。ありがとうございました。

・開催に伴い多くの方に大変お世話になりました。ありがとうございました。

・体験がからむと生徒の反応も良く、よかったです。